

6月18日(月) ふれあい育児体験(2年生)

ふれあい育児体験は、将来、親となる高校生が日々成長する乳幼児と直接ふれ合うことにより、思いやりの心を持って乳幼児に対する理解を深めるとともに、子どもと接することへの不安を乗り越えたり自分自身の生き方を考える契機となるよう実施するものです。

定時制を含めて県立高校ではほとんどの学校で実施されていますが、学校によっては、受け入れ先の園の事情もあって、生徒全員が経験できないところもあります。

幸い、本校では、塩原学園幼稚園、かおる幼稚園、渦が森幼稚園、青葉園のご理解とご協力があり、毎年2年生全員が園児たちとの交流を体験しています。クラス単位で、本校で交流したり訪問して交流したりします。



この日は、2年2組の生徒と塩原学園幼稚園の園児50名とが交流しました。

全員で歌やダンス。



班ごとに自己紹介。少しずつ緊張がほぐれていきます。



じゃんけん列車

○ 班ごとのキャラクター

生徒各自の手作りで、自分の名前をひらがなで書いて名札にしていました。



○ 遊びのメニュー：メニューはいろいろです。班ごとに話し合っ工夫します。

じゃんけん列車、転がしドッジ、爆弾ゲーム、班対抗リレー、ハンカチ落とし、だるまさんが転んだ、などなど

○ 活動のまとめ：写真と感想カード、名札で制作し、講義棟の家庭科教室前に掲示します。

○ お礼：幼稚園には、感想のまとめと挨拶状を送ります。

受け入れ・交流いただいた各園の皆様、ありがとうございました。

先生方、生徒の皆さん、企画、打ち合わせ、メニューづくり、練習等々、本当にお疲れ様でした。